

2026 日つた祭典 in ながの  
合唱構成 **どつれっしゅがやってきました**

★・歌い方注意

① サーカスのうた

★(全員)

サーカスだ サーカスだ  
サーカスがやってきたぞ！

最終版  
6月15日

サーカスはいつでも こころもたちの夢  
の世界

サーカスはいつでも 夢を運んでや  
ってくる

(男声) 胸はずむジントタのリズム  
(アルト) ピエロたちのおどけたしぐ

さ

(ソプラノ) はなやかな空中がらんこ  
(男声) 動物たちの曲芸

(全員) サーカスはいつでも こころも  
たちの夢の世界 サーカスはいつでも

夢を運んでやってくる

★(ソロ) デイを「ニ」で

夢を運んでやってくる 夢を運んで  
やってくる 夢を運んで

〈楽譜通り4部合唱で〉 やってくるー

〈園長・ナレーション〉ピアノ伴奏あり

サーカスで見たぞうたちの曲芸

は、まったくすばらしいものでした。

それで、是非私どもの動物園に譲っ

ていただけませんか、团长さんにお

願いました。昭和12年 その

頃、日本は中国と戦争を始めた頃

で、旅ぐらしのサーカスより動物園

の方が平和に暮らせるだろうと、団

長さんもぞうを譲ってくれる決心を

したのですが、ぞう使いの娘さんを

説得するのに、ずいぶん苦労なさっ

たようです。その娘さんたちが、別

れの日に泣きながら、雪の中を歩く

ぞうに自分のコートをかけてあげる

姿を見て、この人たちのためにも、し

っかりとぞうを守ってほしいと、心に

誓いました。

④ 動物園へようこそ

(子ども)

動物園にぞうがきた サーカスのぞ  
うたちだよ

長い鼻 大きなからだ 優しい目  
をしているんだ

動物園にぞうがきた サーカスのぞ  
うたちだよ アドン！ エルド！

マカニー！ キーコ！

四つ足のぞうなんだ

(全員)

サーカスのぞうだから 曲芸もでき  
るんだ たる回しも 甚盤のリも  
逆立ちもできるんだ

(全員) 太鼓をたたけ

(男声) ドンドコドン

(全員) ラッパをならせ

(子ども、女声) トテチネタ

(全員) 楽しいぞうたちの音楽会

がはじまるー

(子ども)

動物園へようこそ ようこそ

ぞうさんたち これからは

いつでも「こ」にすれば あえるね

(全員)

動物園へようこそ ようこそ

ぞうさんたち

※ほくたちといつまでも

なかよしいよう

※くりかえす

〜空襲警報〜

⑤ 動物を殺せ

〈園長・ナレーション〉

戦争はやがて世界に広が  
り、ますます激しくなりま  
した。そしてある日、危険

な動物を殺すように、とい

う命令が軍から動物園に

下されたのです。動物を守

るために、私たちは懸命に

たたかいました。しかし、動

物を殺せという人たちの圧

力は、日に日に強まるばか

りでした。

(テナー・バス)

もしもここに爆弾が落ちたら

逃げ出した動物は

人を襲うだろう 動物を殺せ！

動物を殺せ！殺せ！殺せ！

殺せ！殺せ！

(園長ソロ)

動物の命を護り育てることが

私のつとめだから

動物と人間の、心をつなぐことが

私の喜びだからどうして動物を

殺すことができよう

どうして動物を殺すことができ  
よう

〈軍人ナレーション〉

他の動物園では、すでに動物を  
処分しておる。ここだけ特別とい

うわけにはいかんだろうが！

どうしても殺さんというのなら、し

かるべき手段をとるぞ！

(園長ソロ)

動物を殺すことができない私に

非国民！非国民！と(★園長のみ)

ののしる声

かすかすの嫌がらせ

けれどどうしても私には殺せない

(大人全員)

動物を殺せ！動物を殺せ！

殺せ！殺せ！殺せ！

銃声

〈園長ナレーション〉ピアノ伴奏あり

たぐさんの動物が殺されてしま

りました。しかし、ぞうはまだ殺され

ずにいました。

ぞうだけは何としても守りたい。

軍や警察に何度も出かけました。

『ぞうを殺すなら私を殺してからに

してくれ！』と言って、銃剣を突き付

けられたこともありました。

それに、人間でさえ生きていくのが

やつとという苦しい時代でしたから、

ぞうを飼育していくだけでも大変な

ことでした。

私たちは懸命にぞう達を守ろうと

しましたが、寒さに震え、キーコが

死に、お腹をすかせてアドンも死ん

でしまいました。

〜照明転換〜

⑧ 本物のぞうが見たい

〈園長ナレーション〉

子ども 立つ

長く苦しかった戦争もようやく  
終わりました。マカニーとエルドは生  
き残ったのです。

やがて、この二頭のぞうのことが、  
東京の子ども議会でも、こんなふう  
に話題になっていました。

- ① 議長 ( )  
では、みなさん、今日の議題は、  
の前決めたように、動物園につ  
いてです。
- ② ことも全員 はい！
- ③ 議長 ( ) はい、OOさん
- ④ ( ) (動物園には、動物  
がいませぬ
- ⑤ ( ) (ぞうだよ。キリンも  
カバもいな
- ⑥ ( ) (くまも いないよ
- ⑦ ( ) (動物はぞうになった  
の？
- ⑧ 議長 ( ) 戦争中、  
みんな殺されたんだ！
- ⑨ ( ) (それじゃ動物園  
じゃない
- ⑩ ( ) (動物がいないなん  
てつまらない
- ⑪ (子ども達口々に) つまらない  
ほんとうにぞうだぞ
- ⑫ ( ) (ぼく、父さんにき  
いたんだ。名古屋の動物園に  
生きているぞうが二頭いるん  
だぞ
- ⑬ ( ) (えう、ぞうが生き  
ているんだぞ！
- ⑭ ( ) (見たいなあ
- ⑮ ( ) (ぼくも見たい！
- ⑯ ( ) (私も見たい！
- ⑰ ことも全員  
見たい！ 見たい！ 見たい！

《議長セリフ》  
それでは、今決めたように、古  
屋の動物園の園長さんのところへ  
行って、ぞうをかくしてくねるよう、  
おねがいしましう。

子どもグループ1 さんせい！  
子どもグループ2 さんせい！  
子ども全員 さんせい！

※ピアノ伴奏1-2-5小節3拍めから※  
☆(全員)  
生きているぞうが見たい  
本物のぞうが見たい ぼくたちの思  
いを 伝えよう広げよう  
(全員)  
生きているぞうが見たい 本物のぞ  
うが見たい ぼくたちの思いを  
伝えよう 広げよう！

⑩ ぞうれつしゃよいそげ

《園長ナレーション》  
そしてとうとう、子ども議会の代  
表が私のところへやってきました。

(子ども) 演出・園長と対面する  
ぞうをかくしてください 私たちにぞ  
うをまだ見たことのないたくさんの  
子どもたちに 本物のぞうがみたい  
おもちゃもおかしもがまんして そ  
んなみんなの夢をどうぞかなえてく  
ださい ぞうをかくしてください  
たとえ一頭だけでも 十万人の子ど  
も議会の願いをこどけにきました

《園長ナレーション》  
子どもたちの願いをかなえてあげ  
たいと思いましたが、しかし、長い戦争  
で身体も心も 弱っているぞうたち  
を引き離すことも旅をさせること  
もできませんでした。

⑩ ぞうれつしゃよいそげ  
～汽笛の音～  
《園長ナレーション》  
しかし、大勢の子どもたちの熱意  
はおとなたちの心を動かし、各地の  
子どもたちをこの動物園まで運ぶ  
特別仕立ての、ぞう列車が走るこ  
とになったのです。

(子ども)  
ぼくたちの胸から まっすぐに伸び  
たレールは 遙かな野山へ  
ぞうたちのものこへこく  
冷たい冬が過ぎ春を迎えたように  
今こそ伝えよう  
あかれる喜びを

(全員)  
長い戦争を生き抜いたぞうたちに  
ぞうたちの命を守った人たちに  
ぞうれつしゃよいそげ  
やみをさいて走れ  
ぞうれつしゃよいそげ  
空をかけて走れ

(子ども)  
ぼくたちの胸から あふれ出た熱い  
思いが 一つに集まって走らせた  
ぞうれつしゃ  
小さなぼくたちでも心をひいてい  
れば 夢だつてかなつて  
信じよう今こそ

(全員)  
夢を戦争でなくした人たちが  
新しい時代をいきっていく人たちが

※ぞうれつしゃよいそげ  
やみをさいて走れ  
ぞうれつしゃよいそげ  
空をかけて走れ  
※くりかえす

⑪ 平和とぞうと子どもたち  
※ピアノ伴奏 前奏 1音上げて 6小節目まで※

☆《全員》  
ワイワイぞうだ であかいな！  
ながーいおはな 大きなおみみ

《園長ナレーション》  
大勢の子どもたちに囲まれて、マカ  
ニもエルドも本当にうれしそうで  
した。

※ピアノ伴奏 ⑫小節目から入る※  
(ソプラノ・アルト)  
子どもたちの笑顔は明るく輝き  
戦争に傷ついた心を癒してくれる  
《ソプラノ・アルト・テナー・バス》  
人間の命を いつくしむ心を  
動物の命を いつくしむ心を  
子どもたちよ いつまでも 忘れない  
でほしい 子どもたちよ いつまで  
も 忘れないでほしい  
(全員)  
ぞうたちのせなかに 友たちの笑顔  
がある  
長い鼻は ぼくらの楽しい滑り台な  
(子ども)  
すべりおりよう ぶら下がろう  
一緒に進しよう ぼくたちと  
(子どもと女声)  
すべりおりよう ぶら下がろう  
一緒に進しよう ぼくたちと  
(全員)  
すべりおりよう ぶら下がろう  
一緒に進しよう ぼくたちと  
大きな 大きなともだちと  
遊ぼう 日の沈むまで  
遊ぼう 日の沈むまで  
あー あー あー

(子ども全員)  
わーい

